

田富小だより

令和5年度
第2号
5月29日
田富小学校



令和5年度学校経営方針

5月8日に、新型コロナウイルス感染症が、2類相当から5類へ移行することに伴い、学校生活にも変化がありました。先日は、授業参観・PTA総会・学年部会と3つのものをすべて1日で行いましたが、実に4年ぶりとなりました。多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。他の教育活動についても、徐々に以前の学校生活に戻りつつある状況です。さて、そんな令和5年度ですが、本年度の学校経営方針についてお話ししたいと思います。「学校経営方針」とは『教育目標を達成するための学校経営計画の戦略を明らかにしたもの』です。国や県の考え方、市の考え方などを受ける形で、本校の教育に関する経営方針を以下のように決めました。このようなかたちで学校経営を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



1 学校経営の基本

山梨県は、「令和5年度学校教育指導重点」において、次の5つの指導重点を示しています。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① 確かな学力の育成 | } 学級経営・ ホームルーム経営の充実 |
| ② 豊かな心の育成 | |
| ③ 健やかな体の育成 | |
| ④ 地域や世界で活躍できる人材の育成 | |
| ⑤ 特別支援教育の推進 | |

そして、中央市は、「中央市教育振興計画」(第2次計画 令和2~11年度)を策定し、「まごころを育む教育」を柱として、以下の項目を重点目標としています。

まごころ

生きる力をはぐくむ教育(生) 命を大切にする教育(命) 信頼しあう教育(信)

これらを受け、本年度は下に示すような学校教育目標と子どもの育ちのめあてを定め、これの実現に向けて取り組んでいきます。

2 校訓 明るく 直く すこやかに

3 学校教育目標と子どもの育ちのめあて

【学校教育目標】

生きる力をもつ子ども
命を大切にする子ども
共に生きる子ども

→

【子どもの育ちのめあて】

自分でできることを増やそう(自分で)
みんなとなかよくしよう(ともに)
みんなのために働こう(ために)

ここ数年間、前年を踏襲する形で学校経営方針を定めています。それは、現経営方針が児童の育みに効果的であり、微調整しながら、本校の伝統として次代へ伝えていくべきであると考えからです。一昨年度より、そして昨年度より少しずつであります。ステップアップしていく田富小学校児童を今年度も目指していきたいと思っております。

新入生ブックプレゼント

5月19日(金)、市教育委員志村様、ひよこの会の皆様をお招きして、新入生ブックプレゼントセレモニーが行われました。中央市では、生後7か月の赤ちゃんに本をプレゼントする“ブックスタート”、小学校入学時にプレゼントする“新入生ブックプレゼント”、中学校卒業時にプレゼントする“卒業生ブックプレゼント”と、子どもの成長に寄り添い、本との出会いを提供しています。

こんなお話を志村教育委員様から頂き、本当にありがたいことだと思いました。体育館でのセレモニーを終え、1年生はそれぞれのクラスに戻り、ひよこの会の皆様による読み聞かせへと移っていきました。読み聞かせの本は、皆さんよくご存じの「おおかみと7匹のこやぎ」でした。子ども達は、読み聞かせの皆さんの軽妙な話術によって、ぐんぐんお話の世界へと誘い込まれていきました。お話が進むにつて、読み聞かせの方のほうへどんどん寄ってくる児童もいて、お話す方とお話を聞く児童とで、一体感が生まれていました。

子ども達は、ゲームやネットによる動画配信、テレビなど視覚的なものを受け取る毎日がほとんどではないでしょうか。そんな子ども達ですから、「読み聞かせ」がとても新鮮だったのかもしれませんが。文章を音で聞いて(読書の場合は、自分で読むこととなりますが)、自分の頭の中に、自分の想像した映像を作っていくことが、どれだけ大切なのかをひしひしと感じた瞬間でした。

田富小学校では、ここ数年、「読む子は育つ」をキャッチフレーズにして読書活動の推進に力を入れています。昨年度の1年間の児童ひとりの平均貸出冊数は、約120冊でした。年間で、およそ3日に1冊の読書に勤しんでいることとなります。子ども達が、活字に触れ、その活字から、思い描く世界の中で様々に感じ、様々に空想を広げる…そんな本の世界であらわれていくことを望むばかりです。また、家読(うちどく)活動にも取り組み、親子で同じ本を手にとって読む活動も行っています。秋の夜長ばかりでなく、1年を通して良書に巡り合い、頭と心を豊かに育てていければいいと思っています。



春の運動会に向けて頑張っています！

春季大運動会(6月3日開催)が迫ってきました。5月

16日から運動会特別日課に入り、どの学年も一生懸命取り組んでいます。酷暑を避けてという理由もあって1学期開催に踏み切ったわけですが、5月中旬には、34度という真夏のような暑さになる日が数日ありましたが、熱中症予防をしながら、表現や競争競技の練習に取り組んでいます。今年は、全校縦割り種目(たけのこハリケーン:竹の棒を5人でもって途中の2つのコーンを回りながら速さを競う定番の競技)を復活させ、高学年の指導実践力の向上や異学年間の協力を目指し、一

生懸命取り組んでいます。実に4年ぶりの全校種目なので、ただでさえ難しさもあるのですが、「子ども達の子ども達による子ども達のための競技」となるようにしています。今年も半日の開催ですが、子ども達がより成長できるように、目的を見失うことなく取り組んでいきたいと思えます。6月3日には、ちょっぴり成長した子ども達の姿を見せることができると思います。尚、仮設校舎の建設及び、本校舎の長寿命化工事のため、この校舎を背景に行う運動会としては、最後になります。当日は是非熱いご声援をお願いいたします。

